リクライニング・コンサート

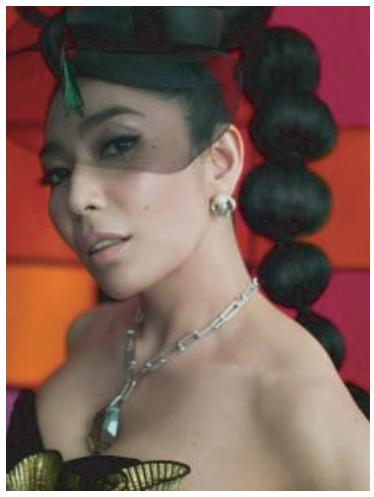
リクライニング席で、最高の演奏をリラックスした雰囲気で聴けるユニークな60分コンサート！

第85回　ジャズ・ピアノの日

進化しつづけるクイーン・オブ・ジャズ

大西順子（ピアノ）

【スペシャルゲスト】峰厚介（テナーサックス）/井上陽介（ベース）



(C)Mika Ninagawa

2012年1月14日［土］

14:00 start(13:30 open)

17:00 start(16:30 open)

1回券　普通席 4,000円

リクライニング席　4,500円　（1ドリンク付）

いわずと知れた人気実力ともに日本のトップ・ミュージシャンとして君臨する大西順子。長期間の休養を経て、世界のジャズ・シーンに華麗に復帰。進化しつづけるグルーヴ感にあふれ、かつ繊細さと大胆さをも兼ね備えたダイナミックなプレイで、聴衆を魅了し続けています。今回は彼女のピアノ・ソロを中心に、日本ジャズ界のトッププレイヤー、峰厚介と井上陽介をゲストに迎え、デュオやトリオもお届けします。このメンバーでの共演は今回が初めてとなる夢のスペシャル・プログラムがHakuju Hallで実現します！それぞれの研ぎ澄まされた感性で華麗なる世界を繰り広げます。

大西順子（ピアノ）　Junko Onishi, piano

1967 年4 月16 日、京都生まれ。東京に育つ。89 年、ボストン、バークリー音楽大学を卒業、ニューヨークを中心にプロとしての活動を開始し、ベティ・カーター(vo)、ジョー・ヘンダーソン(ts)、ジャッキー・マクリーン(as)、ミンガス・ビッグ・バンド、ミンガス・ダイナスティらと共演する。93 年1 月、デビュー・アルバム『ワウ WOW)』を発表。大ベストセラーとなり、同年のスイングジャーナル誌ジャズ・ディスク大賞日本ジャズ賞を受賞。94 年4 月、セカンド・アルバム「クルージン」が米国ブルーノートより発売される。5 月、NY の名門ジャズ・クラブ“ビレッジ・バンガード”に日本人として初めて自己のグループを率いて出演し、1 週間公演を行う。同公演を収録した、『ビレッジ・バンガードの大西順子』は、スイングジャーナル誌ジャズ・ディスク大賞銀賞、出光音楽賞を受賞。95 年のスイングジャーナル誌読者投票では、<ジャズマン・オブ・ジ・イヤー>をはじめ、<アルバム・オブ・ジ・イヤー><コンボ><ピアノ>の4部門を受賞。人気実力ともに日本ジャズ・シーンのトップに昇りつめる。その後日本のジャズの牽引者として縦横無尽の活躍を果たし、近年の本格的な女性ジャズ・ミュージシャン・ブームの先駆けともなるが、2000 年3 月の大阪公演を最後に突然の長期休養宣言。そして07 年、多くを語らず活動再開。かつての力強く、グルーヴ感あふれるプレイに加えて、繊細さも兼ね備えたダイナミズムあふれる演奏は、大きな話題を呼ぶ。09 年7 月、実に11 年ぶりのアルバム『楽興の時／Musical Moments』よりリリース。11 月にはベルリン・ジャズ・フェスティヴァルに自己のトリオで出演。10 年2 月、『楽興の時』がフランスにてリリース。3 月には、ユニバーサル移籍第一弾となる新作『バロック』を、かつてプロとしてのキャリアをスタートさせたニューヨークでレコーディング。同世代のファーストコールのミュージシャンをずらりと揃え、ダイナミックでリッチなアコースティック・ジャズ・サウンドを存分に披露。7 月28 日に日本先行発売されるこの新作は、まさに大西順子の新たなフェイズの始まりを十分に感じさせるものであり、今後その活躍は日本国内のみならず、海外でも大いに期待される。

峰厚介（テナーサックス）　Kosuke Mine, tenor saxophone

1944年2月6日、東京生まれ。63年にジャズバンドに入りジャズ・クラブで演奏を始め、69年にピアニスト菊地雅章に見出され彼のバンドに入団、解散する73年まで在籍する。70年には初のリーダーアルバム「MINE」を発表し、スィングジャーナル誌の読者人気投票アルトサックス部門で渡辺貞夫に次ぐ第2位となり新人アルトプレイヤーとして注目を集める。71年にはピアノのMal Waldronの日本公演及びライブレコーディングに参加、また菊地雅章とJoe Hendersonのコンサートにも参加する。この年よりテナーサックスも吹き始める。73年菊地雅章バンド解散後、ニューヨークに渡り2年間滞在する。75年帰国後すぐに自己のグループを結成、76年にはGil Evansオーケストラの日本公演にアルトプレイヤーとして参加する。78年には本田竹広らとネイティブ・サンを結成しコンサート、アルバム制作（計8枚）など精力的な活動でジャズ・フュージョングループとして人気を博す。83年同グループでサンパウロ（ブラジル）,モントルゥー（スイス）のジャズフェスティバルに出演、ニューヨークのクラブでもライブを行う。その後、板橋文夫、井野信義、村上寛の3人と結成したFour Soundや富樫雅彦のJ.J Spiritsなどを経て92年自己のリーダーグループ峰クィンテットを結成、93年にはこのグループによる久々のリーダーアルバム「Major to Minor」を出しこの年のスィングジャーナル誌ジャズ・ディスク大賞の日本ジャズ賞を受賞する。96年には同グループでニューヨークのクラブ「バードランド」に出演、97年には同グループ3枚目のアルバム「Balancez」を出す。クィンテットを解散後、2009年に清水絵理子（P）、是安則克（B）、村上寛（Ds）を迎え新グループ峰カルテットを結成。現在、自己のグループ以外にも渋谷毅オーケストラをはじめ数多くのセッションに参加している。04年には渋谷毅、林栄一を迎えリーダー作「Rendezvous」を発表する。

井上陽介（ベース）　Yosuke Inoue, bass

1964年7月16日、大阪生まれ。大阪音楽大学作曲科卒。在学中よりプロとして活動を開始。日野元彦、佐藤允彦らのグループを経て91年よりニューヨークを拠点に活動。92年にニューヨーク在住の若手ミュージシャン奥平真吾、池田篤、井上智、大野智子らと共に「インサイド･アウト」を結成。ＣＤ「ビーフリーアンドストロング」発表と同時にＮＹのブルーノート、スイートベイジルなどに出演する。95年には椎名豊、ロイ・ハーグローブと共に「ジャズ・ネットワークス」のレコーディングに参加。97年にはニューヨークの若手ミュージシャンと共に録音した自身のリーダーアルバム「スピークアップ」を発表。日本全国をツアーしたほかＮＹのカーネギーホールでも演奏する。98年にはハンク・ジョーンズ、ベン・ライリーとともにグレートジャズトリオのＣＤ「Ｗｈａｔ’ｓ　Ｎｅｗ」のレコーディングに参加。エイブラハム・バートン、マット・ウィルソン、ドンフリードマンなどのグループでＮＹの「スイートベイジル」などの各ライブハウスでの演奏やヨーロッパツアーなど国際的に活動。日本では2006年まで辛島文雄トリオのレギュラーベーシストを７年つとめる。02年2月にはニューヨークで共演しているミュージシャンとの異なる3種のデュオを収めた自身3枚目のアルバム「Peace」（M&I）を発表。朝日新聞の「今月の10枚」に選定されるなど高い評価を得ている。04年には活動の拠点を日本に移し、05年9月には自身4枚目のリーダー作となる「Back To The Groove」（M&I）を発表し石井彰（P）小山太郎（DR）からなるトリオで都内や全国のライブハウス、コンサートホールで演奏活動を行う。07年10月には多田誠司（SAX）納谷嘉彦（P）大坂昌彦（DR）で編成された新しいグループで録音した５枚目のリーダー作となる「Straight Ahead」がリリースされ、ライブハウス、コンサートなどで活動中。またフィル・ウッズ、トム・スコットなど海外からの来日するアーティストとの共演も多い。07年度（第57回）08年度（第58回）のスイングジャーナルの人気投票で1位になるなど、各種の人気投票で常に上位にランクされる。現在、自己のグループＺ‘ｓの他、塩谷哲トリオ、渡辺香津美ジャズ回帰プロジェクト、大西順子トリオなどのメンバーとして活動。